

令和2年度補助金評価表（令和元年度交付分）

事務事業名	ボランティア運転手育成等補助金		
担当所属	地域振興課	連絡先	092-332-2062

【事務事業基本情報】

区分	②奨励・支援的事業補助		
該当規等	【内規】糸島市自主運行バスボランティア運転手育成等事業補助金交付要綱		
基本目標	基本目標4__快適に暮らすことができる安全・安心のまちづくり		
政策	政策3__交通環境の整備充実		
施策	施策⑥__便利で効率的、安全・安心な公共交通の充実を図る		
補助期間	令和2年度	まで	

【事業概要・指標】

事業概要	成果指標
<p>【目的】</p> <p>自主運行バス事業を行うためのボランティア運転手の育成等を支援することで、自主運行バス事業の安定化を図り、公共交通の不便な地域の住民の交通手段確保につなげる。</p> <p>【対象事業】</p> <p>自主運行バスボランティア運転手育成等事業</p> <p>【対象者】</p> <p>自主運行バス協議会</p>	<p>① ボランティア運転手育成人数（令和2年度）</p> <p>② 自主運行バス事業実施校区数（令和2年度）</p>

【改革案】

今後の実施方向性	拡充
<p>今後、自主運行バス導入地域を増やしていく予定であり、コストは増大するが、さらなる交通不便地域の縮減を図ることができる。また、コスト削減のため有償運送への切り替えを検討する。</p>	

【指標の推移】

	単位	H31年度実績	目標値
成果指標	① 人	83	100
	② 校区	4	6

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和元年度決算	令和2年度予算
トータルコスト	円	2,391,081	4,200,000

【環境変化等】

開始時の周辺環境・課題	バス停から500m、駅から1km以上離れた交通不便地域が点在しており、交通不便地域の縮減が課題であった。
現状の周辺環境・課題	福吉校区、一貴山校区での運行に加え、平成29年度に引津校区、平成30年度においても長糸校区で自主運行バスの運行が開始となり、交通不便地域は徐々に縮減してきている。
今後の予想される周辺環境・課題	高齢化の進展により運転免許証の自主返納者の増加などにより、自主運行バスの需要はさらに増すことが予想される。
市民及び議会等の意向・ニーズの変化等	公共交通不便地域への自主運行バスの導入を望む意向がある。